

昭和大学新聞

学校法人 昭和大学
 発行人 小口勝司
 電話 (3784) 8000 〒142-8555
 東京都品川区旗の台1の5の8
 1部 50円 毎月1回発行

4月号の内容

- 1面
 - 昭和大学卒業式
 - 昭和大学大学院修了式
 - 医学部附属看護専門学校卒業式
- 2面
 - 医学部長就任あいさつ
 - 大学院留学生修了証授与式
 - 昭和大学助産学専攻科修了式
 - 就任のお知らせ
 - 昭和大学サポーター寄付制度
 - 上條記念館座席プレート申込み状況
- 3面
 - 卒業生・修了生一覧
 - 令和2年度第II期大学・看護専門学校入学試験結果
 - 令和2年度春季大学院入学試験結果
- 4面
 - 昭和大学の思い出
 - 新型コロナウイルス感染対策

【問合せ先】

【本紙について：総務課出版・WEB係】
 03-3784-8059
 press@ofc.showa-u.ac.jp
 【各種募金：寄付・90周年事業について：企画課】
 03-3784-8387
 【学事について：学務課、大学院課、入学支援課】
 03-3784-8022 (旗の台)
 0555-22-4403 (富士吉田)
 045-985-6503 (横浜)
 03-3784-8026 (入学支援課)

令和元年度卒業式

医学部 第88回
 歯学部 第38回
 薬学部 第52回
 保健医療学部 第20回



上條賞を受賞した家泉裕香さん(歯学部)

令和元年度昭和大学卒業式が3月18日、パシフィコ横浜国立大ホールで挙行政され、医学部112名、歯学部92名、薬学部167名、保健医療学部157名(看護学科107名、理学療法学科37名、作業療法学科13名)の合わせて528名が医療人としての門出を迎えた。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため卒業生および一部の教職員のみで規模を縮小して執り行われた。

式典は久光正学長から各「ております」と思いを込め、学部の総代に学位記が授与され、その後、告辞(別掲)が行われた。

また、在校生代表は送辞で「大きな壁や困難に直面しても、多職種連携を幾度となく経験し仲間と協力することの素晴らしさを知っている先輩方なら、乗り越えることができる」と確信し



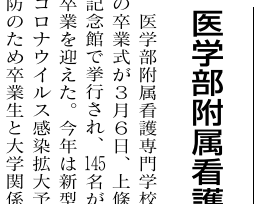
告辞を述べる久光正学長



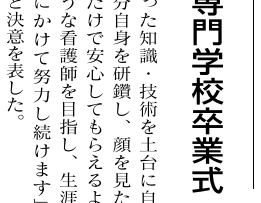
卒業生代表の答辞



学位記伝達式



【上條旗ヶ岡功労賞】右から



【上條賞】右から

学長告辞 久光 正



本日卒業を迎えられた皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは6年前あるいは4年前に将来医療人になることを志して昭和大学に入学されました。これは経済学的な言葉を用いれば、皆さんが皆さんの青春を昭和大学に投資

したということになります。6年間ないし4年間の学修期間・成熟期間を経て、本日を迎えたわけです。

本学の教育は建学の精神である至誠一貫の精神に基づいて行われています。まごころをもって患者さんに尽くし、医療を通して広く社会に貢献する医療人を育て

は、これがこれからの人生の礎となることだと思います。心も痛んでいない状態であること、お母さん、兄弟あいは子供といった自分の家族と想いを交わすこと、心から多くの患者さんを見てあげたいと思えること、そして医療を担う病院で働く中でせひ忘れたいではないこと、その時をぜひ患者さん一人ひとりを皆さんのおじい

さん、おばあさん、お父さん、お母さん、兄弟あいは子供といった自分の家族と想いを交わすこと、心から多くの患者さんを見てあげたいと思えること、そして医療を担う病院で働く中でせひ忘れたいではないこと、その時をぜひ患者さん一人ひとりを皆さんのおじい



卒業証書授与

て読み上げた。卒業生代表は答辞で、これまで支えてくれた多くの方への感謝を表すとともに「昭和大学から発信する医療の和を広げていく時代を令和という新たな時代を担う私たちが使命だと考えて授与も行われた。」

【上條旗ヶ岡功労賞】右から
 医学部 久保田仁美(白馬診療部)
 医学部 田中 優希(救急医療研究部)
 保健医療学部理学療法学科 高橋 悠太(理理学部)
 薬学部 石原 麻美(水泳部)
 歯学部 田上理沙(卓球部)
 医学部 山本晴一郎(硬式野球部)

【上條賞】右から
 薬学研究科 日暮 大渡
 歯学研究科 畔津 佑季
 医学研究科 猪狩 雄蔵

医学部附属看護専門学校卒業式

医学部附属看護専門学校卒業式が3月6日、上條記念館で挙行政され、145名が卒業を迎えた。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため卒業生と大学関係者のみで執り行われ、久光正学長から総代に卒業証書が授与された。

久光学長は告辞で、皆さんは知識や技術はまだ皆さんがこれから学ぶ中で、皆さんが看護に対する気持ち、は、もう十分に一人前です。笑顔忘れず、真心をこめて看護を行う素晴らしい看護師として活躍されることを信じていますと述べ、卒業生代表は答辞で、支えてくれた教育職員や家族に感謝を述べ、本学で学び

を進められています。常に研究心・向上心をもって前向きな気持ちでそれぞれが理想とする医療人を目指して進んで下さい。

私が皆さんと同じぐらいの年、卒業式で心に染み込んだサミュエル・ウルマンの詩の一節をご紹介します。「青春とは人生のある期間を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、燃ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易

を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。年を重ねただけで人は老けない。理想を失う時に初めて老いがくる。皆さんが理想に向かっている間に青春であり、皆さんが看護に対する気持ちは、もう十分に一人前です。笑顔忘れず、真心をこめて看護を行う素晴らしい看護師として活躍されることを信じていますと述べ、卒業生代表は答辞で、支えてくれた教育職員や家族に感謝を述べ、本学で学び